

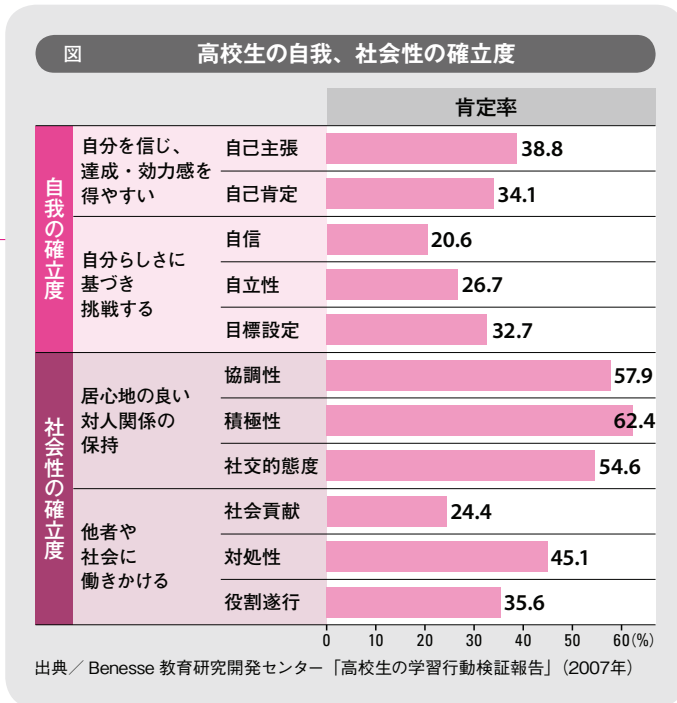
## 課題整理

# 集団の中で自信を付けさせる場が必要

自信を持たない高校生が多い中、自信を持たせ、自立心を育てる行事には、どのようなものがあるのか、読者モニターに聞いた。

弊社の調査によると、今の高校生は「自我の確立度」が「社会性の確立度」に比べて全般的にスコアが低い。自我の確立度の中では「自信」の肯定率が特に低い。社会性の確立度では、「協調性」「積極性」の肯定率は比較的高いが、「社会貢献」「役割遂行」の肯定率は低い。周囲と協調する姿勢は見られるが、自分に自信が持てず、他者や社会のために役立つための役立ちたいという意識は弱いようだ。

こうした傾向からも、集団の中で自信を付けさせる場を、学校で用意する必要がある。モニターアンケート



の回答にもあるが、行事には、生徒が集団での主体的な活動を通して自信を付けられる要素が多く含まれている。行事の狙いや方法を見直し、行事の価値を高めることによって、生徒に自信を付け、自立心を高めることが出来るのではないのか。

生徒の自立心育成に寄与している行事 \* [VIEW21] 高校版モニターアンケートより

- ◎ **応援歌練習**。パンカラ応援で生徒自身（応援団幹部）が全校生徒を動かす。1年生はこの1週間で、厳しさに耐え、学校への帰属意識が高まる。〈岩手県〉
- ◎ **体育大会**。学年横断で団を編成し、3年生が下級生を指導する。生徒同士の人間関係など難しい面もあるが、生徒の成長はとて大きい。〈富山県〉
- ◎ 「産業社会と人間」を中心にした科目選択及び**キャリア教育**。社会人講師による授業やガイダンス、大学・企業見学会などを通して社会と通じるので、生徒も成長する。〈愛知県〉
- ◎ **入学時のオリエンテーション合宿**。本校は学園祭や修学旅行、部活動などが盛んで、生徒が自主的に動く土壌がある。2年、3年と学年が上がるごとに、その意識は高くなる。そうした校風にいかに1年生を乗せていくかが大事だ。〈滋賀県〉
- ◎ **学校行事すべて**。行事への積極参加と、受験勉強との両立。1日の時間の使い方を考えて、自分が今何をすべきか考えることが出来る能力を養いたい。当然行事への完全燃焼は必須。〈京都市〉
- ◎ **文化祭と体育祭**。いかに生徒に自立的に活動させるかを、調整するのが教師の腕の見せ所だと思う。放任では駄目。〈岡山県〉
- ◎ **体育祭**。生徒が運営しており、最後に全校生徒によるダンスがある。これは正式プログラムではなく、3年生が1、2年生を巻き込み行うプログラム。〈愛媛県〉
- ◎ **予餞会**。教師が卒業式の前日、生徒の前で歌ったり踊ったりコントをした。生徒は大喜び。そして、これが生徒と教師をつなげる大切な役割をしている。これを経て、生徒は卒業の意味を考える。下級生もそうして卒業する先輩を見て高校生活を大事にしようと思うのではない。〈青森県〉
- ◎ **質問とはやがずれるが、最近感じるのは、行事が伝統的に受け継がれているため、生徒は「ソツなく」こなす。その「ソツなさ」が最近気になり、もう一歩突っ込んで良いのではないかと思う。〈埼玉県〉**